

# とちぶん会報

No.70

2022年12月15日

栃木県文芸家協会 発行人 福田 三男  
事務局／栃木県下都賀郡壬生町中央町16-18 三上方

## 朝明第11号が発刊

朝明第11号(発行日:2023年1月1日)が、当初の予定どおり発行されました。発行部数は前号と同じく340部です。会員各位には同封したとおり2冊送付します。

コロナ禍の状況が依然として続いている状況ではありますが、これから迎える年末年始、会員がペンを執った作品の数々にゆっくり目を通して味わっていただければと思います。

第11号が発行されたことにより、前号の第10号はバックナンバーとなり、作品を電子化(PDF化)して協会ホームページにアップロードされます。これによって、インターネット環境のある方はどこからでも朝明第10号の全作品を閲覧することが可能となります。電子化されたバックナンバーは第8号から始まり、これで合計3号分が閲覧可能となります。

またアップロードについては、ホームページのトピックスでお知らせいたします。

### ※ 追加注文のご案内

追加注文を希望する場合は、同封した合評会の出欠返信ハガキ、事務局へのeメール(アドレス:hmikami1@outlook.jp)・電話(090-9318-2492)のいずれかの方法でご注文ください。在庫がある限り先着順で承ります。前号、前々号も完売となりました。今号も完売が予想されますので、予めご注意ください。

## 朝明第11号への意見・感想について

朝明第11号へのご意見・ご感想をお寄せください。同封した合評会の出欠返信ハガキに書き添えていただくか、事務局へのeメール(アドレス:hmikami1@outlook.jp)でも構いません。

いただいたご意見等は、整理して来年1月15日(日)に開催する合評会において資料配付する予定です。次号編集への参考にもなりますので、よろしく願いいたします。

## 朝明第11号合評会を開催します(新春懇親会は中止)

朝明第11号合評会について、前回、前々回はコロナ禍により急遽中止となりましたが、今回は以下のとおり開催することとなりました。会員の積極的な参加をお願いいたします。

例年合評会終了後に開催していました新春懇親会は、新型コロナウイルスの感染状況に鑑みて、中止することになりました。悪しからずご了承ください。

○ 日 時 令和5年1月15日(日) 午後1時30分～3時

○ 会 場 栃木県教育会館 [宇都宮市駒生1-1-6/TEL 028(621)7177]

／JR宇都宮駅方面から関東バス「作新学院・駒生」行きに乗車し「東中丸(会館前)」下車  
駐車場有り

※ 当日はマスクを着用し、発熱している方の来場は不可とします。

※ 同封した出欠の返信ハガキを1月9日(月)までに事務局あて必ず送付してください。

※ 新型コロナウイルスの感染拡大により、栃木県において何らかの対策が宣言された場合、状況に応じて前回、前々回同様に合評会は中止します。この場合は、出席予定者に対して、事務局からその旨の連絡をします。よろしくご承知おきください。

## 第3回編集会議を開催、朝明第11号は校正・印刷へ

朝明第11号発行に係る第3回編集会議は、11月10日(木)午後3時からおかりやにて開催されました。6名の委員が出席しました。

印刷会社から届いた初校ゲラを各部門の編集委員に配付し、初校は各編集委員が分担して行いました。二校はすべて編集委員長が行って責了とすることが了承されました。表紙デザインについても確認が行われ、協議の結果、第11号という節目となるため色合い等の一部変更が認められました。

会議終了後は編集委員有志による懇親を深める会食を設けていましたが、諸事情により急遽中止となりました。

## 『創作への志』 会員通信 No.24 随筆部門 国母 仁

創作の原点は日記である。毎日つけることを心掛けている。大学ノートに1ページと決めている。昂った時は2ページ、3ページと膨らんでゆく。

初めて日記をつけたのは二〇歳の頃ではないかと思うがはっきりしない。当時の日記はメモ書きのように箇条書きだった。

日記は人にさらけ出す訳でもないから独りよがりになってしまう。日記をつけているうちに少し欲が出てきて人に伝わる文章が書きたくなり、大出先生の講座に通うようになった。題材をてんこ盛りしないで焦点を絞って書くことを徹底的に教えて頂いた。このことが第二の原点です。

### § 寄贈書籍の紹介 §

○「栃木県現代誌年鑑 2022年版」栃木県現代詩人会編／発行所・栃木県現代詩人会／発行日・2022年12月4日[同会からの寄贈]

・栃木県現代詩人会会員33名の参加を得て、会員の1年間の成果を集約したもの。当協会会員5名が作品を載せている。

### § 新会員紹介 § ・小説部門 鈴木 淳恵[茂木町]

### \*∞\*事務局通信\*∞\*

今回創作部門に入会された鈴木さんは、協会公式ホームページをご覧になり、そこから入会申込み手続きをされました。平成31年4月にホームページが開設されて以来、このようなケースは初めてです。インターネット時代を迎えて久しくなりましたが、デジタルデバイド(情報格差)はまだ続いています。ホームページによる広報強化が図られ、少しずつ成果が表れてくるようになりましたが、鈴木会員のような具体的な入会事例が今後も増えていくことを期待しています。個人的にはあと数年、いやもう少し経てば、子供から高齢者まで完全なネット社会の恩恵を受ける時代になるかと思われれます。朝明の発行も電子媒体が主体となるような時勢になれば、ホームページによる効果もさらに大きくなることでしょう。広報ということに関して、今は辛抱の時期なのかかもしれません。この時期が過ぎれば会員増加の展望も開かれるような気がしています。私の思い過ごしでしょうか？ さらに目線を高くして事務局運営に励みたいと思います。

朝明は今号が第11号という節目ですので、表紙を緑っぽい色合いに変更しました。第6号発行の際にもこういった変更は行われたので、これにならいました。ご了承ください。(三上)